日にち：令和４年７月２６日（火）
時　間：１０：００～
場　所：庁議室

令和４年度

第１回 佐賀市DX推進本部会議

佐賀市スマートシティ宣言

佐賀市は、令和4年3月に「佐賀市DX推進方針」を策定し、デジタルを活用したまちづくりを推進しています。

行政・地域・市民が一体となって、佐賀市版DXをさらに強力に推進し、地域経済の活性化を図り、暮らしや生活がより便利に、より快適に、そして生活に合わせた多様で柔軟な働き方ができるような『スマート・ローカル！SAGACITY』の実現に取り組んでいくことを宣言します。

令和4年7月26日

佐賀市長 坂井英隆

『スマート・ローカル！ SAGACITY』実現のための重点分野と重点取組

**デジタルが充実している
田舎に住むこと**

**いま、いちばん“かしこい”
住スタイル**

英単語の“sagacity”には、“聡明・かしこい”の意味があります。

1 市民サービスDX

自宅でべんりに、かんたん手続きができるオンライン市役所を目指します

2 防災DX

災害・防災情報を早く・わかりやすく・正確にお知らせし、市民のいのちを守ります

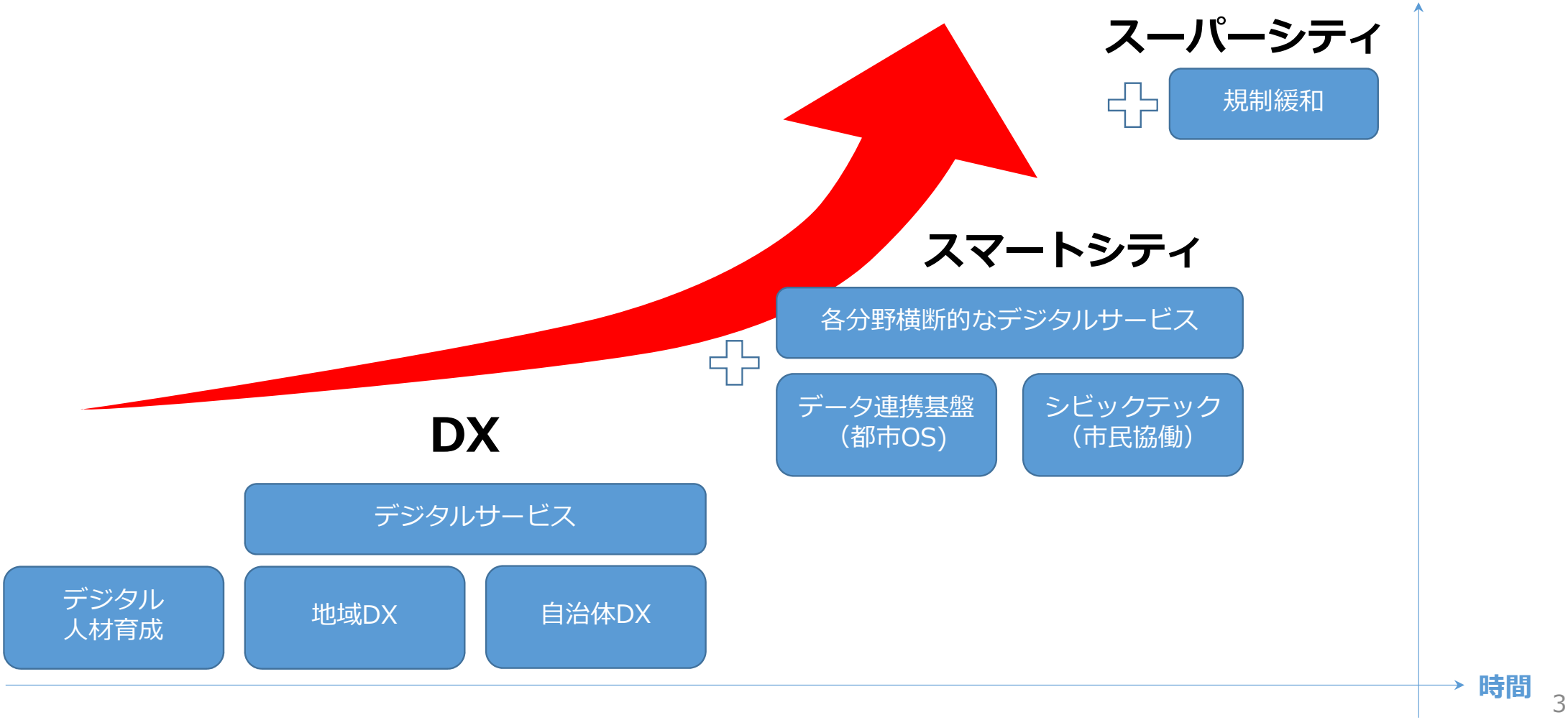
3 子育て・教育DX

誰一人取り残されない子育て・教育環境を整備し、社会全体で子どもを育てていきます

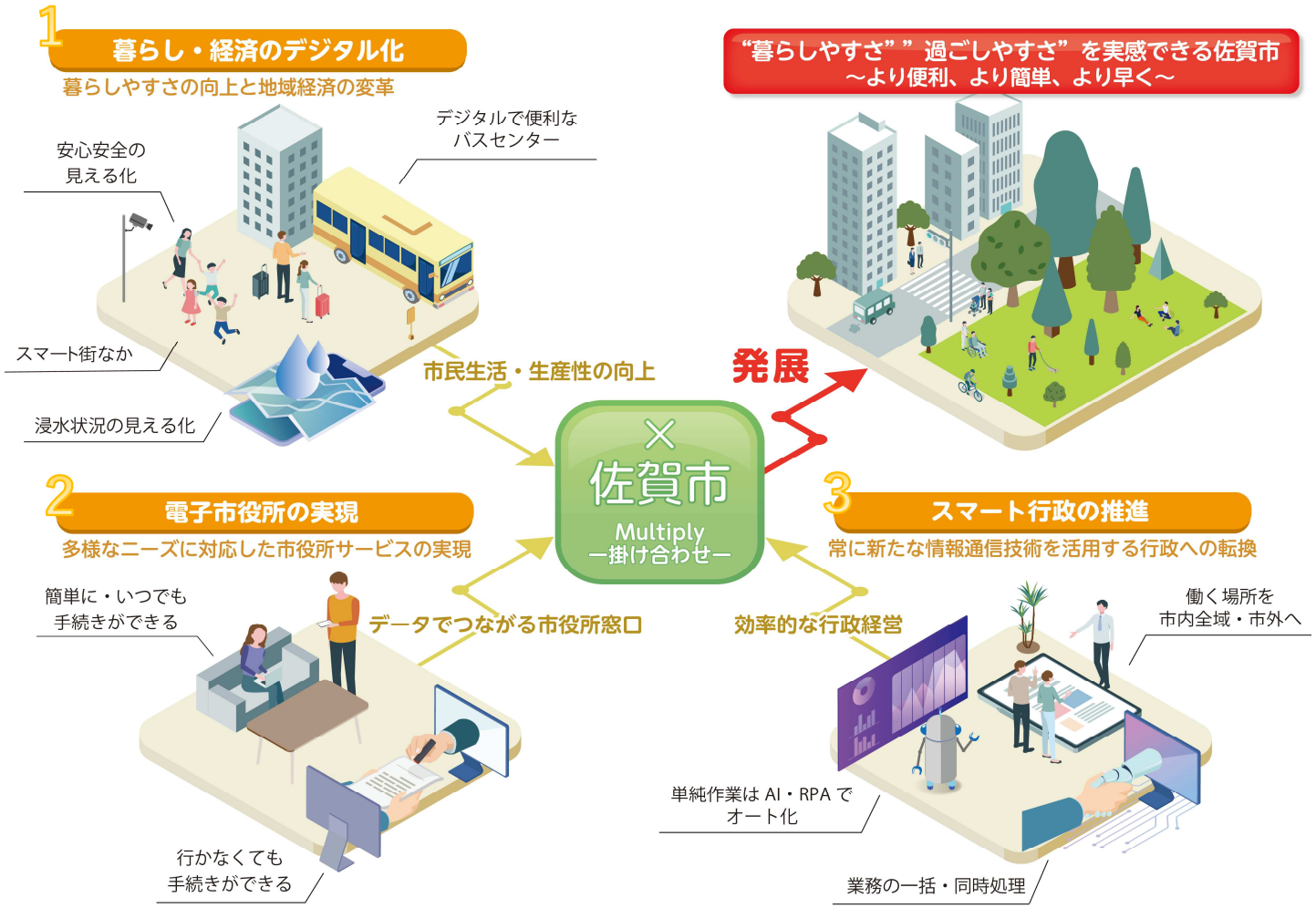
4 産業DX

ICTを活用した経済DXや、AI・IoTを活用した持続可能な農林水産業を実現します

DXのその先の『スマートシティ』へ



佐賀市が描く未来の姿 ～佐賀市DX推進方針（R4年３月策定）～



《これまでの主な取り組み》

1 暮らし・経済のデジタル化

- デジタルを活用したスマート街なか
- 事業所のテレワーク導入支援
- ドローンを活用したスマート農業
- 浸水状況のデジタル化

2 電子市役所の実現

- 住民票等コンビニ交付サービス
- 交付窓口のキャッシュレス決済
- マイナポータルを利用した電子申請

3 スマート行政の推進

- AIを活用したチャットボット、議事録作成システム
- AIによる保育所入所選考システム
- テレワーク、WEB会議環境の整備

佐賀市版DXをさらに強力に推進していくためのポイント ⇒ スマートシティへ！

1. 行政・市民・企業・地域が一体となって取り組む「デジタルを活用したまちづくり」

→佐賀市スマートシティ宣言

2. 重点的に取り組む分野や取組の明確化

→若手職員を中心とした庁内ワーキンググループによる重点分野・重点取組を整理

3. 新たなデジタルサービスの創出

→各分野横断的な取組や地場企業のデジタル技術の活用

4. ビッグデータの利活用

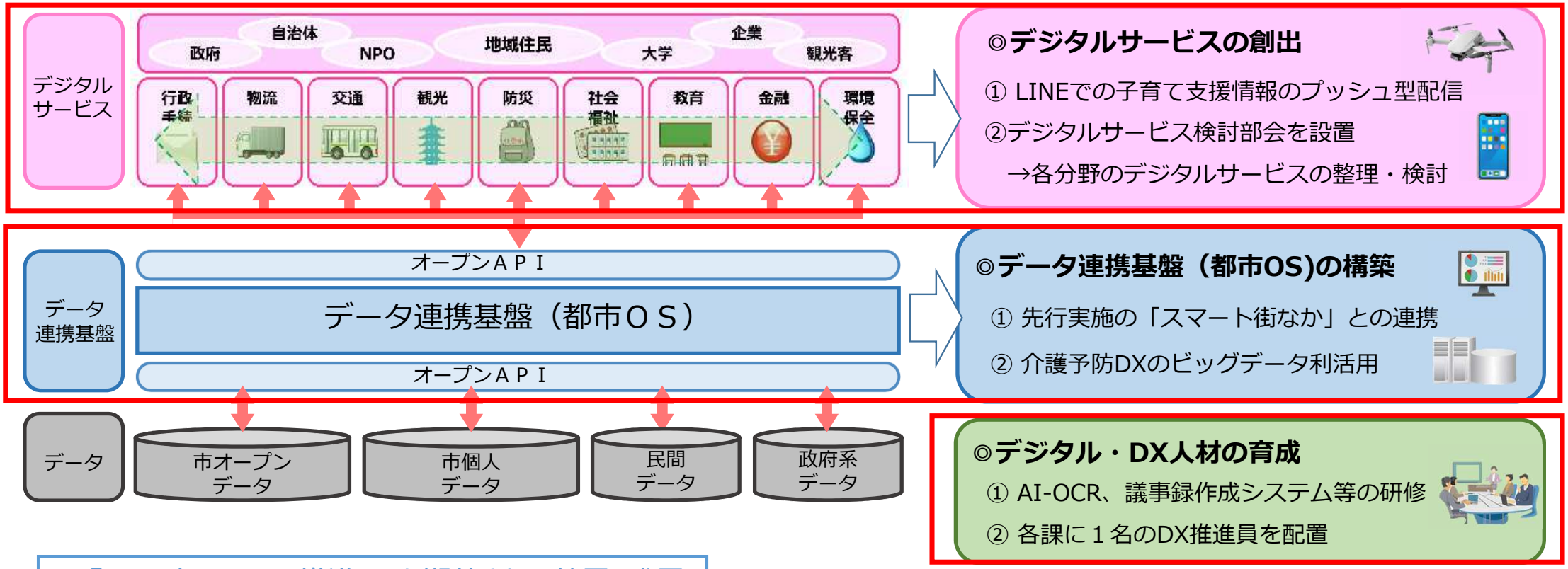
→各分野の各種データやカメラ・センサー等を分析するためのデータ連携基盤（都市OS）の構築

5. 佐賀市スマートシティ推進協議会（仮）の設置

→産官学民等のさまざまな組織の構成員からなる協議体での連携・意見交換

スマートシティの構成要件

《佐賀市の取り組み》



◎デジタル・DX人材の育成

① AI-OCR、議事録作成システム等の研修

② 各課に１名のDX推進員を配置

◎『スマートシティ』の推進により期待される効果・成果

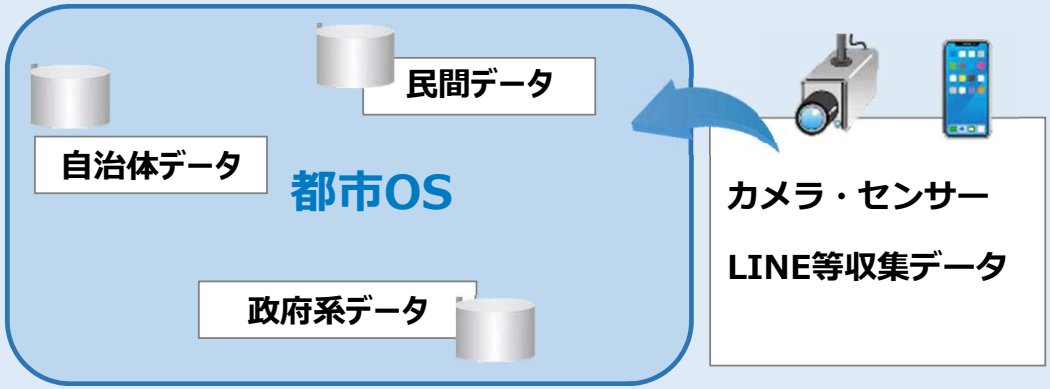
- Well-Being 利便性の向上 暮らしやすさ
- 業務の効率化 生産性の向上
- シビックテック 最新技術×行政×市民
- 地域産業活性化 民間企業との連携
- EBPM 証拠に基づく政策立案

初代「統計院長」大隈重信侯

佐賀市のデータ連携基盤（都市OS）

都市OS　データ

◎各種データの整理・収集・利活用



地域課題へ対応

デジタルサービス創出

オープンデータ化

企業・市民等による利活用（ビジネスチャンス・シビックテック）

◎データ利活用の人材育成 ⇒ データ分析・活用・EBPM

《データを活用した先行実施の取り組み》

デジタルサービス

◎SAGAスマート街なかプロジェクト

① 都市OS：FIWARE（コード・フォー・ジャパン）

② AIカメラ、センサーデータ、街なか店舗情報等

AIカメラやセンサーデータ → 都市OSにデータを蓄積 → データを活用したデジタルサービス

◎佐賀市介護予防DX

① 医療・介護・健診等ビッグデータ活用

② 統計的分析手法PPDAC（EBPM）

ビッグデータ総数約7億個 → データ分析・ハイリスク者抽出 → 医療関係者・地域による支援

佐賀市のDX人材育成・推進体制

佐賀市DX推進本部

本部長（市長）・副本部長（副市長）・本部員（部局長）

ワーキンググループ（検討部会）

企画部門	デジタルサービス創出
事業部門	LINEを活用した情報発信
	口座振替WEB申し込み
	データ利活用
情報システム標準化	SHIPS・福祉総合・戸籍等
⋮	⋮

【ワーキンググループ】
・部局横断的な事業実施に当たり、必要に応じたWGを設置し、協議・連携

【デジタルサービス創出検討部会】
・各部局から若手職員1名ずつ（計14名）を選出し、実施事業の整理、創出

☞令和4年度 第1回 佐賀市DX推進本部会議で発表

DX推進事務局／情報システム標準化事務局

DX推進室／デジタル推進課

DX推進員

各課１名

DX人材育成

①DX研修の実施→課内への周知・ 共有
②デジタルツールを活用し業務の効率化
③部署間の横断的なDXの推進

デジタルサービス

【子育て分野の実施予定】
・R5年１月配信開始予定

☞必要な人に必要な情報を届ける『セグメント配信』

☞わかりやすく、検索しやすい『リッチメニューアイコン』

デジタルサービス創出検討部会の取り組みについて

デジタルサービス創出検討部会について

１．構成員

・各部局から１４名で構成

２．本部会議までの目的

・ＤＸ推進に向け、優先的に取り組む分野・取組の整理を実施

３．検討部会

・１４名の構成員が３班に分かれ、それぞれ優先すべき分野を検討

４．検討部会意見

・優先すべき分野：８つ
・デジタル技術の利活用により特に発展すると考えられる分野：４つ

【デジタルサービス創出検討部会メンバー】
高田　諭(財政課)、針尾　菜都美(バイオマス産業推進課)、葺本　信太朗(観光振興課)、園木　祐輔(農業振興課)、
吉岡　慶太(建築住宅課)、渡邉　優愛(環境保全課)、三浦　唯(市民生活課)、萬年　宗親(保険年金課)、
井手　啓香(こども家庭課)、金子　祥太郎(公民館支援課)、古田　雄樹(国スポ･全障スポ総務課)、松尾　紀明(学事課)、
林田　龍典(交通局総務課)、多々良　望麦(上下水道局業務課)　･･･以上14名

デジタル技術の利活用により特に発展すると考えられる分野

スマートシティ実現のための重点分野と重点取組

市民サービスDX

◎パソコン・スマホでオンライン申請

↳ 自宅でべんりに、かんたん手続き

◎佐賀市総合ポータルサイト・アプリ

↳ パソコン・スマホで情報配信・予約

防災DX

◎災害・防災情報のデジタル化

↳ 早く・わかりやすくお知らせ

◎ドローン・スマホの活用

↳ 迅速な災害復旧

子育て･教育DX

◎デジタル化・オンライン化の推進

↳ 子育て世代への情報配信と教育現場での情報共有

◎スマホの位置情報システム等の利活用

↳ ICTを活用し地域で子どもを見守り

産業DX

◎ICTを活用した経済DX

↳ デジタルによる地域産業の活性化

◎AI・IoT等を活用したスマート農林水産業

↳ 生産性の向上・担い手の育成

3 デジタルサービス創出検討部会の取り組みについて

活動報告

第１回

・検討部会の目的説明、市長からの激励

・事例紹介：「SAGAスマート街なかプロジェクト」「介護予防DX」

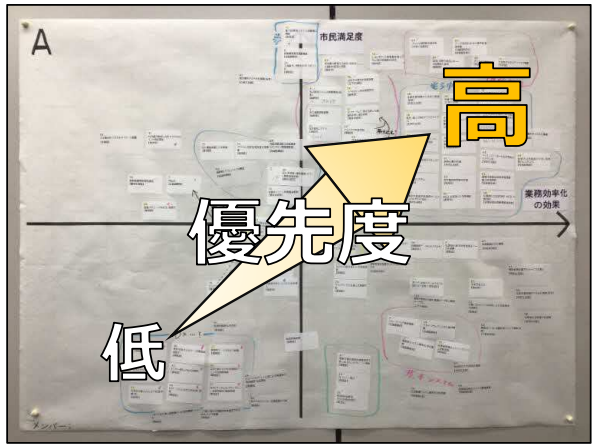
⇒検討部会で目指すべきビジョンを共有

第１回：市長からの激励

第２回

・佐賀市の111の事業を**市民満足度・業務効率化**の観点から4象限に分類

⇒優先的に取り組む事業を把握



第2回：事業振り分け結果（4象限）

活動報告

第３回　㈱オプティム視察

・農業や医療、建築など幅広い分野で展開される事業紹介
・AIを活用した技術等のジオラマブース、ドローンガレージの見学
・最も大切な「人への対応」に注力するためデジタル技術の活用を

⇒先進的技術、新たなサービスを生み出す「考え方」を学ぶ機会に

・新たな着想と顧客ニーズをマッチさせるには、
現場に足を運び丁寧な課題把握が重要

⇒市民の方や現場で働く職員との連携が重要

第3回：㈱オプティム視察

ドローンガレージ見学

ジオラマブース見学

活動報告

第４回～第６回

ＤＸ推進のために優先的に取り組む分野検討

・８分野を挙げた上で１１１事業を分野別に分類

・８分野中の各事業を短期・中期・長期事業及び優先度別に分類

①市民サービス、②防災、③子育て・教育、④農林水産
⑤観光・まちづくり、⑥健康、⑦交通、⑧庁内DX

・デジタル技術の利活用により特に発展すると考えられる
４分野を選定し、重点的に取り組むべき事業を抽出

①市民サービス、②防災、③子育て・教育、④産業

検討部会での様子

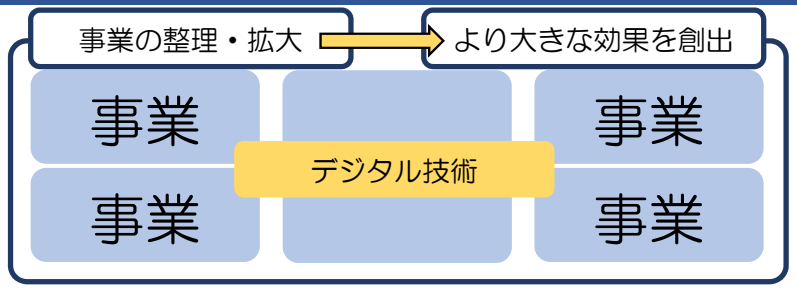
第７回

・本部会議で報告する内容について整理（自席でのWEB会議）

今後の必要な視点と取り組み

視点① 『デジタル』をハブとした事業整理・拡大の可能性

デジタル技術を軸に、整理又は拡大できる
「可能性を秘めた事業」が多いのでは。



視点② 企業協働・市民協働

デジタルサービスを活用する企業・市民と共にサービスを発展させていくことが重要。

今後の取り組みについて

原課、現場の意見を踏まえ、8月から横断的なサービスの創出を目指す。

今後のスケジュール

	年度	令和4年度	令和5年度
1	スマートシティ構想・推進	スマートシティ実現に向けた『**スタートアップ期**』 R4.7.26 ☆ 「佐賀市スマートシティ」宣言	スマートシティ推進『**本格実施**』 ☆ **R5年度 デジタル田園都市国家構想交付金申請**
2	取組の3本柱 ①デジタルサービス創出	各種ワーキンググループ（デジタルサービスの検討） ☆ **6月 デジタルサービス創出WG設置**	デジタルサービス実装・創出 ・各部横断的な取組
	②都市OS構築	都市OS実装準備・データ整理	都市OS実装 ・データ利活用・EBPM・オープンデータ化
	③DX人材育成	各課DX推進員へのDX研修 ８月～ 専門家を講師とした研修会実施（年３回）	DX人材育成の強化 ・佐賀市スマートシティ推進協議会（仮）設置
3	佐賀市DX推進本部会議	☆ **第1回 7月** **デジタルサービスの整理・重点取組等まとめ** ☆ **第2回 10月** **デジタルサービス創出（案）**	☆ **第3回 3月** **R5年度デジタルサービス（案）**